

会議録

1. 附属機関の名称：犬山城管理委員会
2. 開催日時：令和3年3月25日（木） 午後2時00分から午後3時30分まで
3. 開催場所：犬山市役所5階 501・502会議室
4. 出席した者の氏名
 - (1) 委員 日比野良太郎、長谷川良夫、成瀬淳子、宮田昭男、中村貴文、吉田鋭夫、岡覚、白水正
 - (2) 執行機関 歴史まちづくり課 中村部長、中村課長、加藤課長補佐、渡邊統括主査、山田文化スポーツ課 山本課長
犬山城管理事務所 酒向所長、村中副所長、坂井
 - (3) その他 滝教育長
5. 報告事項
 - (1) 令和2年度犬山城関連主要事業の進捗について
 - (2) 犬山城入場登閣者数について
 - (3) 国宝犬山城天守・史跡犬山城跡保存活用計画について
6. 議題
 - (4) 令和3年度 犬山城関連主要事業（案）について
7. 傍聴人の数：1名
8. 会議要旨
 - (1) 令和元年度 犬山城関連主要事業の進捗について
（事務局より資料に基づき、犬山城の保存活用に関する事業及び犬山城の管理に関する事業について報告）

委員①：移築された門・櫓の調査の資料には、宗門櫓と、松ノ丸の裏門、これについて研究者の方が今、調査しておられるということでしたけれども、両者とも既に移築されている。基本的に移築される前の状態というのは、宗門櫓は針綱神社の本殿のやや南東のところにあったのではないかと。それから裏門に関しては参集殿のやや北東の所にあったのではないかとされている。また、裏門のいわゆる礎石等は出なかったという話は聞いてはいるが、実際に発掘調査、残存状況の確認はしたことがあるのか。裏門を研究者が色々調査するのはいいが、それがあった場所の残存状況はどうなっているのか。本格的なことはこれからなのかをお尋ねしたい。

それから、宗門櫓もちょうど（針綱神社）本殿のところであって、南東の方角にあるので、昔は南東の隅櫓というような名前も付いていたのではないかと思う。現在は本殿があるので、もし、宗門櫓を元の場所に持って行くということになると、かなり難しい問題が山積しているのではないかと。文化庁の言っている「復元」というのは、元の所にきちんとそれなりの状況が整った一歴史的な状況が整った所へ持ってきてこそ、初めて復元の認可が下りるということを言っている。最近「復元的」という言葉がある。「適切に歴史文化遺産を表現できれば文化庁としては認可します」というものを「復元的」という言葉を使っているようだが、その辺の所をお尋ねしたい。

事務局：松の丸の裏門（参集殿の北側にあった門）の礎石等の発掘調査は未実施で、地下に残っているかはまだ確認できていない状況である。さらに、元あった場所に復元的整備なり、復元をするとすると礎石・埋蔵状態を確認したうえで行わなければならない。まだ城山自体にそういう未実施の箇所が山ほどあり、今後、皆さま方と協議した上で、順次やっていかなければいけないと思っている。まずは今回着手させていただいたのは、建造物の部分だけで、これからやっていきたいことということでご理解いただきたい。

(2) 犬山城登閣者数について

（事務局より資料に基づき、前年度比について報告）

委員②：前年比約40%ということですが、やむを得ないことだと思う。コロナ対策を十分にとって城内の人数を制限しているということだが、並んでいるのか。

事務局：平日についてはほとんど待ち時間はない。天気の良い土日になると入城の列ができ、待ち時間が出る状況である。

(3) 国宝犬山城天守・史跡犬山城跡保存活用計画について

（事務局より資料に基づき、事業内容について報告）

(4) 令和3年度 犬山城関連主要事業（案）について

（事務局より資料に基づき、犬山城関連主要事業（案）犬山城の保存活用に関する事業、犬山城の管理に関する事業の内容について説明）

委員②：福祉会館の跡地はどうなるのか。

事務局：まずは調査をし、その調査の成果をまとめて、史跡の追加指定をしなければいけない。

文化庁からは、史跡全体の整備を検討してその中でその土地はどうあるべきかを考えるようにと指導を受けており、今後検討していく。また、色々なところで皆さんからのお問合せがある中では、「できれば便益施設のようなガイダンス施設だとかそういったものも検討して参ります」という言葉を述べており、適正に配置ができるのかどうかも含めて今後、検討という形になる。

また、福祉会館がなくなり景観が良くなったことで、今後も景観を阻害するようなものは出来ないよう条例も改正済みで、しっかりと景観を守っていきたい。

委員①：犬山城の東山麓にいわゆる開削というか、切り開いて郷瀬川という川を無理やり作っ

て、東から木曾川の北側に一直線に水が流れている。郷瀬川ができることによって、旧名鉄犬山ホテルとの間がはっきりと分断されたが、旧名鉄ホテルあたりの内田門から彩雲橋がある西側や七曲がりに行くあたりまでは、間違いなく城郭だったと思う。絵図を見ると彩雲橋辺りには「丑寅櫓（うしとらやぐら）」があり、水堀があつて土塁があつたのではないかと。現在も石積が残っており、とても歴史的な風情がある。

そういったことをよく知ったうえで進めていってほしい。管理委員会としても、そういった部分に関わるのが非常に大事になっていくのではないかと。

事務局：大切な場所であることは十分認識をしている。旧名鉄ホテルの土地は民地であり、現在のホテルインディゴが建つまで待つて欲しいという話もあった。まずは建設をという中でも重要な部分は立会をし、最低限の調査はしている。史跡全体を整備するという議論の中で順位を付けながら、皆さんと協議し文化庁とも協議をした上で進めて参りたい。

(5) 東京2020オリンピック聖火リレーについて

（文化スポーツ課より資料に基づき、実施内容について説明）

○その他

※次回の委員会は、事務局の方から各委員の日程を調整し、文書等で連絡し開催する。 _